

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 707 号
2020年5月1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

アルミ合金輸入量 87%減

財務省発表の貿易統計によると、2月の中国からのアルミ合金輸入量は前年同月比86.9%減の3,459トンで5ヶ月連続して前年同月の実績を下回った。

国内自動車生産の減少で需要が減退したほか、中国で新型コロナウイルスが拡大し、現地メーカーの稼働や物流、輸出通関に支障が出たため、輸入量が大幅に減った。

マレーシアは9.8%減の3,440トンで3ヶ月ぶりのマイナス、インドネシアは70.5%減で4ヶ月ぶりのマイナス。

一方、増加傾向にあるスペインは57.7%増の3,305トンで2ヶ月ぶりのプラス。イタリアは23.7%増の1,739トンで16ヶ月連続して増えた。欧州もアジア同様に新型コロナウイルスの感染が拡大し経済に影響が出たが、航行日数の違いから通常通り輸入された。

ロシアは18.3%増の15,028トンで8ヶ月ぶりのプラス、ウクライナは32%減の963トンで2ヶ月ぶりのマイナスだった。ロシアやウクライナからの数字には、二次合金原料のベースメタルが多く含まれる。

2月 アルミ合金 輸入量

| 国名 | 重量(t) | 前年同月比 |
|--------|----------|----------|
| 中国 | 3,459 | (-86.9%) |
| マレーシア | 3,440 | (-9.8%) |
| インドネシア | 201 | (-70.5%) |
| スペイン | 3,305 | (+57.7%) |
| イタリア | 1,739 | (+23.7%) |
| ナイジェリア | 2,720 | (-4.0%) |
| ロシア | 15,028 | (+18.3%) |
| ウクライナ | 963 | (-32.0%) |
| その他 | 36,536 | |
| 合計 | 67,391 t | (-22.5%) |

連休の

ご案内

ゴールデンウィークは、下記のように連休といたします。

5月3日(日)～5月10日(日)

尚、5/1(金)と5/2(土)は生産調整日と致します。
新型コロナウイルス拡大の影響で、5月は需要に応じて生産調整日増の対応を取って参ります。

アルミニウム二次合金・二次地金需要見通し

令和2年度 2.1%減予測

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は、このほど令和元年度のアルミニウム二次合金・同二次地金の需要実績見込みと、令和2年度の同需要見通しを発表した。

令和元年度の日本経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に穏やかに回復していたが、消費税増税後の自動車の国内販売や年末からの四輪車の輸出が落ちこんでおり、弱さが一段と増した状態が続いている。

この様な経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、海外経済の減速による我が国の自動車メーカーの海外生産の減少により、主力の自動車向け鋳物・ダイカスト需要が減少し、令和元年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,609,200トン(対前年度比 95.1%)が見込まれる。

この様な状況の中で、令和2年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、国内自動車生産が減少するとともに、海外生産用部品も減少しすることから、減少する

ことが見込まれる。

- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、飲料用アルミニウム缶需要等で多少の増加が見込まれるものの、総じて横ばいが見込まれる。

- (3) 鉄鋼・その他向け二次合金地金・二次地金需要については、国内粗鋼生産が前年度比で横ばいと予想され、横ばいが見込まれる

以上の状況から令和2年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、1,575,600トン(対前年度比 97.9%)と策定した。

また、令和2年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、282,100トン(対前年度比 97.2%)が予想される。

なお、新型コロナウイルスについては、令和2年度末以降の需要に大きな影響が生ずることが見込まれるが、本需要見通しにおいては考慮に入れていない。

したがって、本需要見通しと実際の需要との間には、乖離が生ずる見通しであるが、新型コロナウイルスの影響の大きさを見極める上でも有用と考えて公表する。

令和2年度アルミニウム二次合金・同二次地金需要見通し

(単位：トン)

| 項 目 | 平成30年度 | 令和元年度実績 | | 令和2年度 | |
|--------|-----------|-----------|-------|-----------|-------|
| | | 見 込 み | 前年度比% | 見 通 し | 前年度比% |
| 鋳 物 | 347,646 | 335,700 | 96.6 | 325,400 | 96.9 |
| ダイカスト | 1,025,501 | 957,700 | 93.4 | 934,400 | 97.6 |
| 圧 延 | 206,669 | 206,400 | 99.9 | 206,400 | 100.0 |
| 鉄鋼・その他 | 112,900 | 109,400 | 96.9 | 109,400 | 100.0 |
| 計 | 1,692,707 | 1,609,200 | 95.1 | 1,575,600 | 97.9 |

(注1) 輸入地金を含む。

(注2) 平成14年1月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

さわやかな5月の風によって、鯉のぼりが元気に工場の空を泳ぎます。

工場に隣接する矢作川(やはぎがわ)の堤防は、すっかり新緑の一色となって散策の好適地となりました。

冬中の伊吹おろしと枯野の殺風景な環境から一変しました。



1月生産

**アルミ 鋳物 減少
ダイカスト**

経済産業省がこのほど発表した1月の生産動態統計によると、アルミの鋳物の生産量は前年同月比1.9%減の33,453トン、アルミダイカストは3.6%減の78,714トンだった。

国内自動車生産の減速や世界経済の低迷などを背景に鋳物は4ヶ月連続、ダイカストは6ヶ月連続して前年同月の実績を下回った。部門別では、鋳物・その他を除いて全部門がマイナスだった。

アルミ鋳物は、主力の輸送機械(自動車とその他)が2%減の31,990トンで4ヶ月連続のマイナス。内訳は、自動車が2%減の31,271トンで4か月連続のマイナス。輸送その他は3.8%減の719トンで12ヶ月連続して前年実績を下回った。一般機械は4.3%減の581トンで15ヶ月連続のマイナス。その他は土木・建設関連からの引き合いが増え、5.3%増の881トンで半年ぶりにプラス転換した。

アルミダイカストは、主力の自動車が3.2%減の70,482トンで6か月連続のマイナス。二輪は5%減の1,896トンで12ヶ月連続のマイナス。一般機械は7.1%減の2,337トン、電気機械は13.3%減の1,314トンでそれぞれ4ヶ月、11ヶ月連続のマイナス。その

他は4.1%減の2,685トンで8ヶ月連続して前年実績を下回った。

1月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

| | | |
|------------|---------------|---------------|
| ①アルミ鋳物 | 33,453 | (98.1) |
| ② 一般機械 | 581 | (95.7) |
| ③ 輸送機械 | 31,990 | (98.0) |
| ④ その他 | 881 | (105.3) |
| ⑤アルミ・ダイカスト | 78,714 | (96.4) |
| ⑥ 一般機械 | 2,337 | (92.9) |
| ⑦ 電気機械 | 1,314 | (86.7) |
| ⑧ 自動車 | 70,482 | (96.8) |
| ⑨ 二輪車 | 1,896 | (95.0) |
| ⑩ その他 | 2,685 | (95.9) |

西尾茶

矢作川の下流台地は、水はげが良く地味が肥えて茶の木の育成に最適とされている。

新芽は太陽光を遮蔽されておだやかに育ち手で摘みとられ高級茶に加工され、西尾茶として名高い。抹茶の生産は日本一を誇り、毎年この季節に茶葉クラブのメンバーが古式豊かな茶摘み行事を披露する。



社内情報

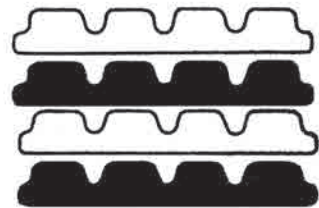
- ◎花壇に植えました名港海運さんご寄贈のチューリップの球根が立派に成長して、例年のように色とりどりの見事な花が咲いています。
- ◎4月末で決算棚卸しを行いました。原料納入業者と運送関係の皆さんに大そうご無理をお願い致しました。
- ◎おかげ様で、順調に棚卸しを終わりました。ご協力に厚くお礼を申し上げます。

編集後記

- 新型コロナウイルスの世界的拡大の影響で、日本国内も政府より緊急事態宣言が発令されました。
- リーマンショック後の2009年春にも、一時生産活動を半減して凌いだ記憶があります。
- 今回も同様に定時操業と休業の繰り返しを当面続けなければならないが、自宅待機生活の長期化は精神的な苦痛が増します。
- 早期の収束を願うばかりです。

アルミ缶リサイクルング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>